

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-07 街路照明灯事業 □支援部門				ザイムスコード及び個別事業名		
					275	街路照明灯事業	
主管課	道水路管理課		関連課		1195	街路照明灯事業	
分野名	道路整備						
目標 (目標値)	夜間等の通行車両及び歩行者の安全対策						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	29,105千円	27,728千円	指標と評価 指標 街路照明灯設置業務 評価 ○ ◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			
	(国・県)	2,520千円					
	(負担金等)						
	(一般財源)	26,585千円	27,728千円				
	人員配置数	0.9人	0.9人				
	人件費	8,190千円	8,119千円				
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費	37,295千円	35,847千円	20年度		11基	
	市民1人当 りの経費	211円	203円	21年度		5基	
	対象者1人 当りの経費			22年度			
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名					23年度	
						最終年度 (年度)	
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 修繕箇所を早期発見するためには、定期的なパトロールの実施が有効であるが、その体制が整っていない。					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・職員により、他の業務における現地調査時や住民との立会時には、付近の街路照明灯を点検し、修繕の必要性を調査するよう心掛けた。 ・緊急雇用対策により、独立型街路照明灯の点検作業を行う予定であったが、入札不調により業務を行うことができなかった。 ・地球温暖化対策として、水銀灯型街路照明灯の一部を省エネ型に灯具交換を行った。					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 定期的なパトロールができていない。					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 平成22年度は、緊急雇用対策により独立型街路照明灯の点検作業を行う。 引き続き、現地調査時や住民との立会時には、付近の街路照明灯の点検・調査を行うとともに、職員によるパトロールを実施する。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	緊急雇用対策による点検結果を生かし、街路照明灯の適正な維持管理を行う。地球温暖化対策として、引き続き省エネ型ランプの導入を行う。		評価結果	改善の必要性	引き続き効率的な点検方法を検討する。鎌倉市地球温暖化対策地域推進計画に基き、環境負荷の低減を目指すため、省エネ型ランプの導入を推進する。	
A	有			A	有		
課長名		道水路管理課長 稲葉 一男		部名・部長名		都市整備部 山内 廣行	